Call 公募	HORIZON-CL3-2026-01-FCT-01
Project	**Improving capabilities of law enforcement to counter climate-related challenges** HORIZON-CL3-2026-01-FCT-01
Topic description トピックの説明	期待される成果： 本プロジェクトの成果は、以下の期待される成果の**一部またはすべて**に寄与することが期待される： ● 欧州の警察当局は、気候変動に関連する違法行為の増加や、新たな（機会主義的な）犯罪パターンの出現に対抗するための専門的な技能と技術を備えている。 ● 政策立案者が、気候変動が法執行に及ぼす影響について理解を深め、これに関連する効果的な欧州政策を策定することを目的として； ● 気候変動現象が社会動態に及ぼす影響に関する理解が深まることで、犯罪やテロリズムに関する従来の視点を超え、公共の秩序を維持するよう行政当局に求められるようになる可能性がある。 スコープ： 地球規模の気候変動は、今後 10 年間にわたって私たちの社会に影響を及ぼすと予想されるメガトレンドである。「ドイツ：国家横断的気候リスク評価」[1]で述べられているように、「私たちはすでに気候危機の中に生きている。これは、地球規模および国家レベルで重大な安全保障上のリスクをもたらす。(...) 安全保障について考える者は、気候についても考えなければならない」。 気候変動は、欧州の法執行機関にさまざまな形で影響を及ぼすことになるだろう [2]、[3]。特に、組織犯罪にとって新たな機会や資源を生み出し、現在の安全保障体制に課題をもたらす可能性が高い。気候変動によって予想される結果の一つに、希少性市場の出現が挙げられる。気候変動によって引き起こされる資源の希少性と、組織犯罪グループによる犯罪の機会との関連性については、さらなる分析が必要である。犯罪組織は、希少品市場を支配しようと図り、食料や水といった生活必需品やサービスの流通において、その役割を拡大していくことになるだろう。さらに、犯罪組織は、紛争や気候変動の影響から逃れる女性や子どもを含む移民の移動を助長するだろう。異常気象による移民の流れの増加は、人身売買や搾取の機会を増やす可能性がある。さらに、生物多様性の減少に伴い、絶滅の危機に瀕する動物種が増え、それらが野生生物密輸業者の標的となることになる。こうした状況下では、新技術の導入が、さまざまな種類の犯罪組織を後押しすることになるだろう。気候変動に関連するこうした犯罪、違法行為、脅威、被害の例としては、気候変動の一因となる環境犯罪（違法な採掘・資源採取、水中資源や河川の水の違法利用、違法な森林伐採、違法な廃棄物管理）、野生生物の密輸や密猟、詐欺や金融犯罪 （グリーンウォッシング、炭素クレジット詐欺、気候基金の不正利用）、気候変動に関連する災害の悪用（水の窃取、災害後の略奪、土地の奪取）、あるいは社会的緊張（新たな形態の過激化やテロリズム、公共の秩序を脅かし、脆弱な立場にある集団に不釣り合いな影響を与える避難民や移民の増加）などが挙げられる。 犯罪と気候変動を軸とした新たなアプローチ――これには、犯罪活動と気候変動との関連性や、気候変動によって犯罪活動が助長される現象などが含まれる――は、綿密な調査と分析を必要とする独自の課題をもたらしている。こうした新たな動向を認識することは、効果的な計画や政策を策定し、ますます不安定化する世界においてこれらの課題に対処するために必要な専門的な技能、技術（科学捜査を含む）、および訓練を法執行機関に備えさせる上で極めて重要である。 このトピックでは、コンソーシアムへの警察当局の参加が必須であることに加え、必要に応じて、民間警備会社、国境警備隊、税関当局などの他の治安関係者の積極的な参画が推奨される。技術的側面と社会的側面の両方に、バランスのとれた形で配慮すべきである。このテーマで採択された提案間の連携を図り、重複を避け、相互補完性を活かし、さらなる波及効果を生

	み出す機会を最大限に活用すべきである。このテーマの下で資金提供を受ける提案については、法執行機関による将来のイノベーション導入を促進することを目的として、プロジェクト期間中にユーロポール・イノベーション・ラボとどのように連携するか（成果の検証を含む）について、具体的な構想を示すことが求められる。警察当局の研修関連については、当機関が資金援助の申請を見送ることを条件として、採択された提案が CEPOL と連携することが期待される。最後に、提案書には、「犯罪・テロ対策」分野の「はじめに」に記載されている、該当するすべての考慮事項が盛り込まれることが求められる。 このテーマにおいては、関連する研究活動の社会的影響力を高めるために、有意義かつ重要な成果を生み出すべく、社会科学・人文科学（SSH）の各分野による効果的な貢献、SSH の専門家や機関の参画、ならびに SSH の関連専門知識の取り入れが必要である。この分野の研究は、必要に応じて、脆弱性やニーズにおけるジェンダー特有の側面を考慮することで、さらに強化される可能性がある。 技術成熟度レベル - 完了したプロジェクトにおいて期待される技術成熟度レベル 本プロジェクトの終了までに、各活動において TRL 5 の達成が見込まれている（一般付属書 B を参照）。 [1] https://metis.unibw.de/assets/pdf/National_Interdisciplinary_Climate_Risk_Assessment.pdf [2] A.Matczak、S.I. Bergh、「気候変動が世界中の警察活動に及ぼす（潜在的な）影響に関するレビュー」。『Policing: A Journal of Policy and Practice』第 17 巻、2023 年, https://doi.org/10.1093/police/paad062 [3] P. シュワルツスタイン（2024）、『気候変動と犯罪：巨大かつ深刻でありながら、ほとんど見過ごされている関連性』。戦略的リスク評議会。 https://councilonstrategicrisks.org/2024/10/17/climate-change-crime-a-big-bad-largely-overlooked-nexus/